

都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・11 月予測） ～緩やかながら前月比プラスを維持

2020 年 11 月 4 日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調では、2020 年 4 月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）ⁱを作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の 3 カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）ⁱⁱを DATASALAD にて公表している。本稿では、10 月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した 2020 年 11 月の予測 CI を解説する。

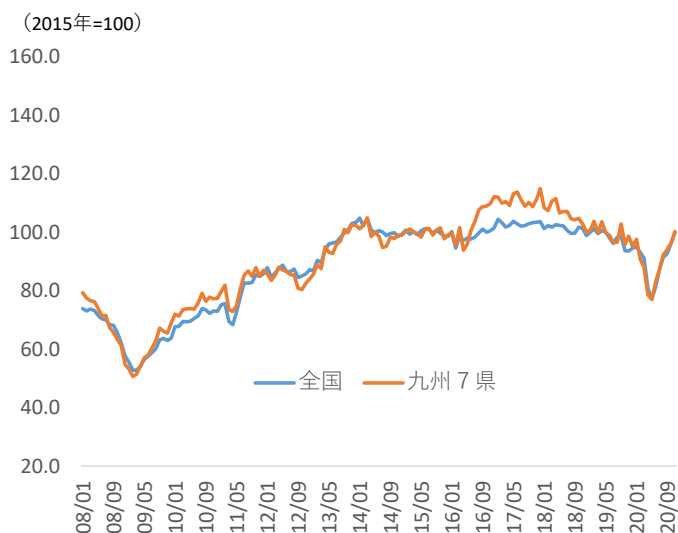
2020 年 11 月の九州 7 県の予測 CI：緩やかに回復

2020 年 11 月における九州 7 県の予測 CI は前月比+4.1%の 100.3 となり、6 カ月連続でプラスとなった。6 月の都道府県 CI が前月の 5 月から反転してプラスとなり、以降は改善が続いている。

なお、全国は前月比+3.9%の 99.9 となった。全国と九州の指数の水準の差は縮小している。

都道府県 CI、予測 CI は、景気的水準とともに、景気の拡大・後退のスピードを把握することができる。新型コロナウイルス感染拡大により、景気的水準はリーマンショックに迫る水準まで悪化したが、5 月を底に改善し、11 月もその傾向が続くとみられる。

図1 都道府県CI、予測CI（全国、九州7県）



注1) 2020年8月までは実績値（都道府県CI）、9～11月は予測CI

注2) 2020年11月2日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

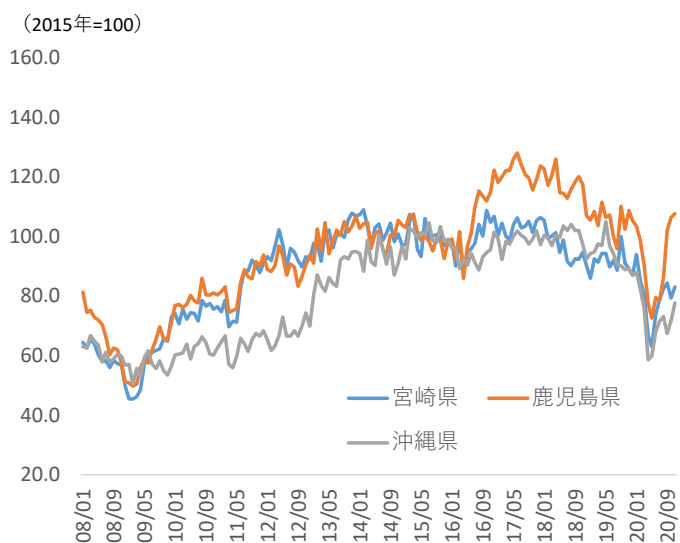
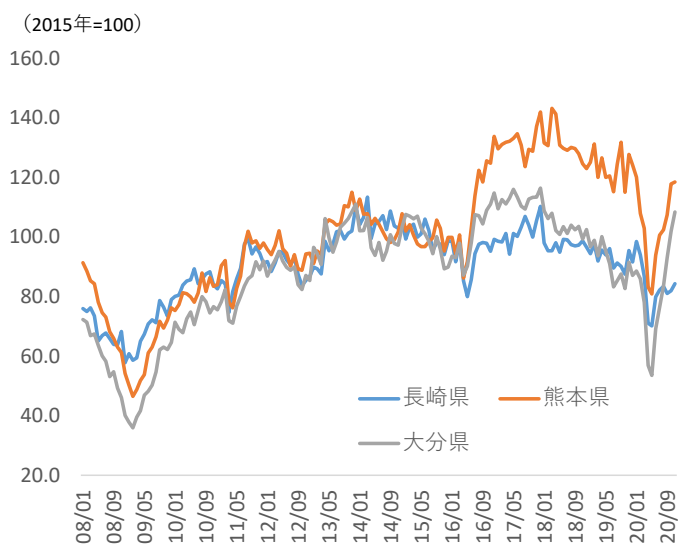
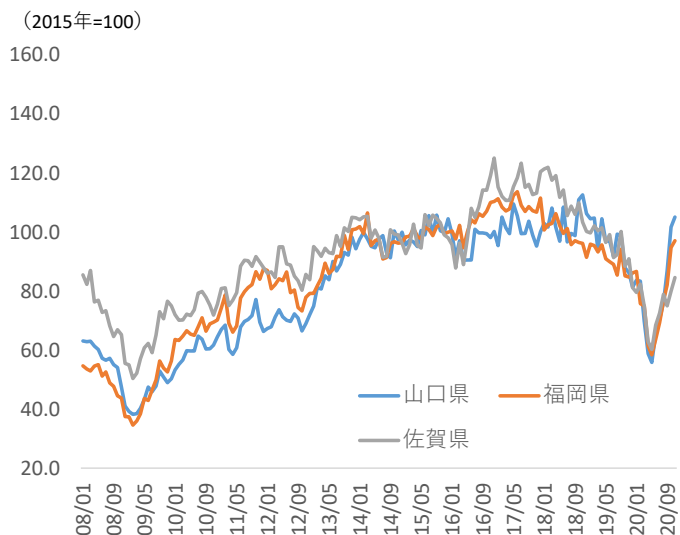
2020年11月の九州地域の予測CI：全県で改善

2020年11月における九州地域（九州7県・沖縄県・山口県）の予測CIを県別にみると、全県でプラスとなり、特に沖縄県（前月比+8.3%）、大分県（同+6.5%）、佐賀県（同+5.7%）でプラス幅が大きくなった。全県で雇用関連の先行指標がプラスとなっているほか、プラス幅が大きい県は消費関連指標のプラス寄与も大きい。

松嶋 慶祐（事業開発部 主任研究員）

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI (県別)



注1) 2020年8月までは実績値(都道府県CI)、9~11月は予測CI

注2) 2020年11月2日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

表1 都道府県 CI、予測 CI (全国、九州地域)

	指数 (2015年 = 100)						前月比 (%)					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2020年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	2020年 6月	7月	8月	9月	10月	11月
全国	81.4	87.4	91.4	92.7	96.2	99.9	5.6	7.4	4.6	1.4	3.8	3.9
九州7県	83.2	87.4	92.3	94.1	96.3	100.3	8.1	5.0	5.6	2.0	2.3	4.1
山口県	65.6	70.5	76.2	86.9	101.7	105.1	17.6	7.5	8.1	14.1	17.0	3.3
福岡県	63.7	69.3	76.7	82.1	94.8	97.1	9.1	8.8	10.7	7.0	15.4	2.4
佐賀県	68.5	72.5	78.9	75.0	80.0	84.6	13.8	5.8	8.8	▲4.9	6.7	5.7
長崎県	79.9	82.2	83.4	81.0	82.0	84.3	13.8	2.9	1.5	▲2.9	1.2	2.8
熊本県	93.9	100.6	102.4	107.4	117.8	118.5	16.1	7.1	1.8	4.9	9.6	0.6
大分県	69.2	76.4	83.6	93.0	101.9	108.4	29.3	10.4	9.4	11.3	9.5	6.5
宮崎県	73.8	78.8	82.4	84.3	79.3	83.1	17.3	6.8	4.6	2.4	▲6.0	4.7
鹿児島県	79.5	78.5	86.2	102.0	106.3	107.6	9.5	▲1.3	9.8	18.3	4.3	1.2
沖縄県	68.0	71.5	73.1	67.5	71.7	77.6	13.7	5.1	2.2	▲7.7	6.3	8.3

注1) 2020年8月までは実績値(都道府県CI)、9~11月は予測CI

注2) 2020年11月2日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

i) 景気動向指数(CI)は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県CIは、内閣府が公表するCIの作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「C I手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報2019年11月号

ii) 予測CIは、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県CIを予測したものである。経済指標のほか、気象データ(気温や降水量)など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測CIは全国、地域ブロック、九州地域(九州、沖縄県、山口県)の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報2020年1月号